

[巻頭企画]

誕生!

新型 日野プロフィア 新型 日野レンジャー

純国産トラックの誕生から100年を迎える今年、大型トラック「日野プロフィア」が14年ぶりに、中型トラック「日野レンジャー」が16年ぶりにフルモデルチェンジを果たしました。『安全性能』を一段と強化するとともに、燃費性能の向上を図り、お客様の『収益向上』に貢献。また、近年の運送業界が抱えるドライバー不足の課題解決に向けて、『快適性能』を追求し、ドライバーが乗りたくなる憧れのトラックとなっています。

今月号では、新しく誕生した「日野プロフィア」、「日野レンジャー」の魅力とその実力に迫ります。



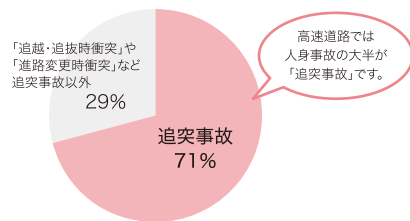
安全性能 ドライバーの 一層の安心・安全のために

事故を起こしてしまうと、ドライバー本人だけでなく会社・家族・取引先など多大な影響を及ぼすため、万全な安全対策が不可欠です。トラックによる人身事故の内訳は「追突事故」が約半数を占め、高速道路においては約7割にまでぼつています【グラフ】。

新型の日野プロフィア・日野レンジャーでは、PCS（プリクラッシュセーフティシステム）※1を進化させ、衝突・追突事故の抑制に大きく貢献。その他、安全装備の強化を図りドライバーをサポートします。

※1 *PCSはトヨタ自動車(株)の登録商標です。

【グラフ】
高速道路のトラック事故に占める追突事故の割合(2014年)



出典：公益社団法人 全日本トラック協会
「できることから始めよう！トラック追突事故防止マニュアル～追突事故撲滅キット～」

万全の予防安全で事故を未然に防止

PCS（プリクラッシュセーフティシステム 歩行者検知機能付衝突回避支援タイプ）

日野プロフィア、日野レンジャー 新規標準装備

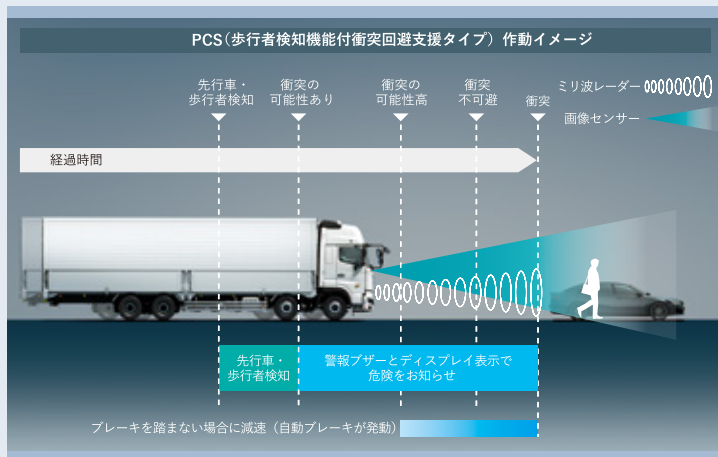
停止車両や歩行者まで検知し、衝突回避を支援。

国内大型・中型トラック初 ※2

衝突時の速度を抑え、衝突被害の軽減に寄与するPCSが、ミリ波レーダー＋画像センサーにより、「停止車両」に加え、「歩行者」の検知も可能になりました。

※2 2017年3月時点。自社調べ。

■PCSは、対車両は自車速度約10km/hから作動、対歩行者は自車速度約12～80km/hで作動します。また、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態などによっては、作動しない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。



スキャンングルーズII 日野プロフィア 標準装備、日野レンジャー 新規装備・一部OPTION

車間距離を自動制御し、運転の負担軽減に貢献。

ミリ波レーダーで先行車を検出し、適切な車間距離を自動的に維持。ドライバーのアクセルやブレーキの操作が減るため、疲労の軽減に寄与します。車間距離が急激に短くなると、警告を発し、衝突の可能性がある場合はPCSを作動させます。

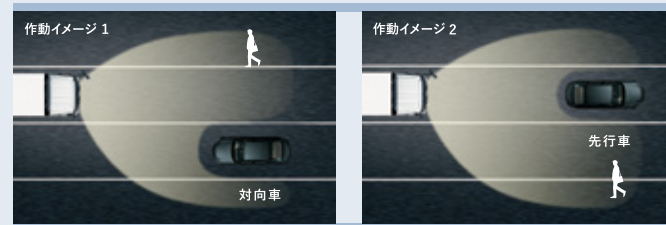


可変配光型LEDランプ 日野プロフィア OPTION ※トランテックス製VQウイング車は標準装備 国内大型トラック初 ※2

ハイビームを自動制御し、夜間の安全運転をサポート。

LEDの点灯と消灯を制御し、先行車、対向車に光が当たる箇所だけを自動的に遮光。夜間の走行でハイビームを使用しやすくなります。また、夜間の歩行者を発見しやすくなり、「ヒヤリ」の低減に貢献します。

※2 2017年3月時点。自社調べ。



ドライバーモニター 日野プロフィア 標準装備、日野レンジャー 新規装備・一部OPTION

わき見やまぶたの状態を検知し、警報で注意を喚起。

時速約60km/h以上で走行時、ドライバーの前方不注意による事故を防止するため、ドライバーの顔向きやまぶたの開閉状態などをモニターカメラで常時確認。前方への注意不足を検知すると警報を発し、衝突の可能性がある場合はPCSを早期に作動させます。



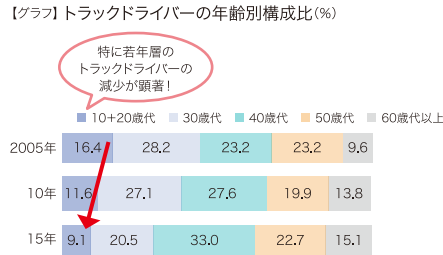
各安全装備について詳しくは、WEB・カタログをご覧ください。または販売会社にお問い合わせください。

快適性能

人材確保・定着に向けて、乗りたくなるトラックを実現

ドライバー不足の課題は年々深刻さを増しており、特に若年層ドライバーの減少は顕著になっています[グラフ]。ライフラインのひとつである物流を止めないためにも、人材の確保・定着に向けて早急に取り組まなくてはなりません。

新型の日野プロフィア、日野レンジャーでは、運転の負担を軽減するためスイッチ類の配置を最適化したほか、疲れにくさを追求したシートを採用。その他、随所に快適性向上のための改良を施し、すべてのドライバーが乗りたくなるトラックになっています。



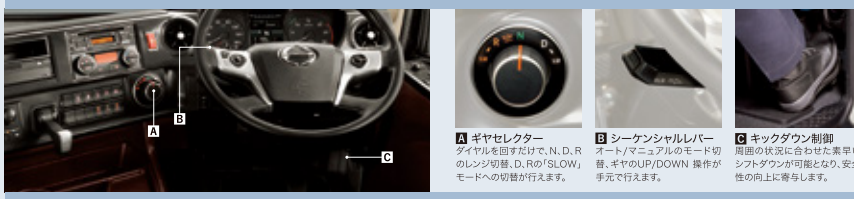
出典：公益社団法人 全日本トラック協会 「日本のトラック輸送産業 現状と課題2016」より作成

ドライバーの働きやすさのために

Pro Shift

操作性が向上し、運転の負担を軽減。

スイッチ類を運転時や停車時など、操作シーンごとにゾーン配置しました。またPro Shift(機械式自動変速機)搭載車は、シフトレバーに替えてダイヤル式のギヤセレクターを採用。併せて変速モードの切り替えなどが行えるシーケンシャルレバーをステアリングコラムに設けることで、ドライバーの運転ストレスや負担を軽減します。



A ギヤセレクター
ダイヤルを回すだけで、N、D、Rのレンジ切替、D、Rの「SLOW」モードへの切替が行えます。

B シーケンシャルレバー
オート/マニュアルのモード切替、ギヤのUP/DOWN 操作が手元で行えます。

C キックダウン制御
周囲の状況に合わせた素早いシフトダウンが可能となり、安全性の向上に寄与します。

コンビネーションメーター

ユニバーサルデザインを採用し、視認性が向上。

ユニバーサルデザインを取り入れ、速度計、エンジン回転計をそれぞれ大径化するとともに、メーター内の文字を拡大。マルチインフォメーションは7インチに大型化し、視認性を高めています。



快適性を追求した新シート

疲れにくい、トップレベルの座り心地を実現。

新たに採用した高機能シート(日野レンジャーはオプション)は、人間工学に基づき、シートの構造を見直しました。疲れにくく、安定した着座姿勢の確保に貢献します。

*シートの設定は車型によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。



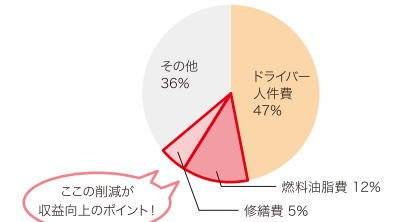
収益向上

お客様の毎日のビジネスをサポートするために

事業収益の向上には、コスト削減対策が不可欠です。運送事業者のコストの中でも、燃料油脂費、修繕費は大きな割合を占めており[グラフ]、これらのコストの削減は、収益向上につながるポイントです。

新型の日野プロフィア、日野レンジャーは、新開発のダウンサイジングしたエンジンを搭載しており、さらなる高トルクと省燃費を両立しています。また、通信により車両情報を日野に送る「ICTサービス機能」を備え、適切な予防整備を提案。お客様の収益向上に貢献します。

[グラフ] 運送コストの平均構成比(4トントラック1台、1ヵ月当たり)



出典：国土交通省自動車局貨物課、公益社団法人 全日本トラック協会 「トラック運送事業の運賃・原価に関する調査 調査報告書(平成23年調査)」

輸送能力の向上と燃料費の削減を両立

日野プロフィア

新9Lエンジン

新9Lエンジンは、2段過給ターボ、空冷インタークーラー2基を搭載し、小排気量ながら高出力・高トルクを実現。Pro Shift搭載車は燃費基準+10%を達成しています。

	最高出力	最大トルク
新9L	279 kW (380PS)/1,700rpm	1,765 N·m (180kgf·m)/1,100rpm-1,400rpm

よりパワフルなE13Cとより軽量なA09Cもラインアップ。

	最高出力	最大トルク
E13C	302 kW (410PS)/1,700rpm	1,967 N·m ~ 2,157 N·m (200kgf·m)/1,100rpm (220kgf·m)/900rpm-1,300rpm
A09C	221 kW ~ 265 kW (300PS)/1,800rpm (360PS)/1,800rpm	1,177 N·m ~ 1,569 N·m (120kgf·m)/1,100rpm (160kgf·m)/1,100rpm-1,600rpm

*燃費基準、エンジン型式は主要諸元表または販売会社にてご確認ください。

日野レンジャー

新エンジン A05C

新エンジンA05Cは、190PSから2段過給ターボ搭載の260PSまでをラインアップ。また、トランスミッションとの組み合わせにより、燃費基準+5%達成車型が拡充しています。低馬力仕様では、尿素フリーを継続しました。

	最高出力	最大トルク
A05C-TC(A5-II)	191 kW (260PS)/2,300rpm	882 N·m (90kgf·m)/1,400rpm
A05C-TD(A5-I)	177 kW (240PS)/2,300rpm	833 N·m (85kgf·m)/1,400rpm
A05C-TE(A5-V)	177 kW (240PS)/2,300rpm	794 N·m (81kgf·m)/1,400rpm
A05C-TF(A5-VI)	155 kW (210PS)/2,300rpm	706 N·m (72kgf·m)/1,900rpm
A05C-TG(A5-VII)	140 kW (190PS)/2,300rpm	706 N·m (72kgf·m)/1,900rpm

*燃費基準、エンジン型式は主要諸元表または販売会社にてご確認ください。

ICTサービス

日野のトラックを、より便利に、より安心に。

通信システムでお客様の車両と日野をつなぎ、日野に届く様々な車両情報を活用しながら効果的な提案やサービスの提供を行います。

通信システムで日野に届く車両情報

- 車両稼働情報(整備が必要な時期をお知らせ)
- 24h緊急停車時 発生場所・状況(いち早くSOSサービスをご提供)
- 省燃費運転・安全運転の状況(燃費・安全向上のヒントをご提供)

*ICTサービスのご利用には、車両情報取得に関する同意が必要です。